



紫式部伝

学校長 有村 恵

令和6年が始まり2か月が経とうとしています。能登半島の大きな地震の報に触れ、震災で亡くなられた多くの皆様に対して心から哀悼の意を表したいと存じます。そして、今なお不自由な生活を余儀なくされておられる方々に対して一日も早い復興を心からお祈りいたします。併せて、疎開している中学生や不自由な学校生活を送っている小学生には特にエールを送ります。

さて、本年1月からNHKの大河ドラマで、紫式部を主人公にした放送が始まっています。そこで、紫式部について改めて少し調べてみました。

紫式部は、西暦1000年ごろに活躍した女流作家で、源氏物語を大成させた人として知られています。紫式部は花山天皇に仕えていた学者である藤原為時の娘として生まれ、998年には藤原宣孝と結婚して娘を設けるなど順風満帆な生活を送っていました。しかし、3年ほどで藤原宣孝は伝染病によって亡くなってしまいます。その後、紫式部はその才能を評価され、藤原彰子の女中として仕え始め、この頃から源氏物語を執筆し始めたとされています。その後1008年頃に源氏物語を完成させ、女流作家としての地位を確立しますが、その3年後ぐらいに女中を辞め、1014年ごろに亡くなったとされています。

紫式部という名前は実は本名ではありません。というのも、紫式部がいたころの日本では女性は自分の親族や配偶者以外には決して本名を教えるはずで、紫式部が出ている文献にも彼女の名前は記されていないのです。では紫式部という名前は何なのかというとニックネームみたいなものだそうです。紫式部の父の官職である式部丞と紫式部の代表作である源氏物語の重要人物である紫の上を合わせたものだといわれています。

代表作である源氏物語は桐壺から夢浮橋までの合計54帖からなり、そこには、光源氏や光源氏を取り巻く女性の争いや恋愛などが描かれており、現在でも古典中の古典と評され今も愛されています。併せて、世界で最も古い恋愛小説として知られており、当時女性の文学があまり浸透していなかった時期に大成させたことは今もなお評価されています。また、源氏物語は平安時代から今に至るまでに読まれてきた大ベストセラー小説として知られており、戦国武将の上杉謙信は源氏物語を愛読していたとされ、国学を大成させた本居宣長は源氏物語に関する解説書を出版しています。

～紫式部の百人一首に選ばれた和歌～

めぐりあひて 見しやそれとも わかぬまに 雲がくれにし 夜半の月かな
(久しぶりにめぐり会ったのに、それがあなたかどうか分からない間に帰ってしまうなど、まるで雲に隠れてしまった夜中の月のようではありませんか。)

雅な古の世界に思いをはせつつ考えたことでした。これからも一日一日を大切にしながらかがやきあふれる吉田っ子の創造をめざし、日々進めて参りたいと思います。

地域の皆様方，本年度もありがとうございました



本校では，伝統的に地域の皆様方に支えられています。とても有り難いことです。まず，毎朝，早い時間帯に，吉田麓交差点で子供たちの交通安全を見守ってくださる永吉辰也さん。麓交差点は近年交通量が非常に増えているようです。暑い日も寒い日も毎朝安全に子供たちが元気に登校出来るように，立哨して下さり本当に感謝の気持ちでいっぱいです。併せて気持ちよいあいさつも交わして下さいます。

本当にありがとうございます。来年の4月からも継続して立哨して下さいます。

次に，ボランティアコーディネーターの長田先生を窓口にして，家庭科のミシンの使い方や水泳指導や陶芸指導，そして生活科の昔の遊び等々，いろいろな方々が学校に来てくださって教えて下さいました。なかなか教員だけでは難しい学習場面なので，お手伝いいただくと子供たちの学習効果もどんどん上がっていくようです。さらに，子供たちもかねて習わない方々が先生となって来てくださるとのことで，とてもその時間を楽しみにしています。

さらに，本校の勤労生産学習において，長年，御協力いただいている枇榔さん。本校の職員だけではできない学習田の耕作やアドバイスをしてくださいます。そのおかげで，毎年多くのもち米を収穫することができています。本年度から餅つきの体験も復活したところです。

どうか今後とも地域の皆様方の御協力をいただき，さらに本校の教育活動を充実させて参りたいと思います。

読書のすすめ

本校の子供たちは本を読むことが大変好きです。毎年図書館には，新刊で約200冊の本を購入しています。なかなか公立の図書館には行く機会がなくても，学校の図書館から本を借りて家庭で読んだり，また学級で読んだりすることができます。本校の図書館には佐多司書がいます。保護者や地域の皆様も是非のぞいてみてください。きっと楽しい世界が広がることと思います。お待ちしております。



春はもう間近

2月になってから，暖かい日が続いています。上着要らずの日もあるようです。今，学校の鉢や花壇には可憐で色とりどりの花々が咲いています。この花は，本校の吉留主事が育苗から取り組んでいます。卒業式や入学式にあわせて調整をしながら，日々水の管理や咲き終わった花がらの除去等行っているところです。もちろん子供たちも花壇の草取りや水かけを頑張っています。花々が咲きほこる学校。素敵な吉田小です。

